

第 9 回 通 常 総 会 記 録

日 時 昭和53年 6 月10日

場 所 高岡市永楽町 5 番 10 号
厚生連高岡病院講堂

健康な村づくりに資することを目的として調査研究をすすめております本研究会も、発足以来9ヵ年の歳月が経過し、熱心な会員の皆さんのご協力と関係諸機関のご援助によりまして着実に調査研究がすすめられ、その実績は本誌第9巻に発表することができました。

ここに第9回の総会を迎える運びと相成り、その内容についてご報告申し上げます。

本総会は106名の出席者と委任状51通で定刻に開催され議案審議等とどこおりなく進められ、金沢大学医学部教授の吉村祐之氏の特別講演を拝聴し無事総会を終了いたしました。

以下、総会の議事の概要と提出資料を掲載し参考に供します。

議 事 の 概 要

○会 員 総 数 182名 うち出席者 106名、委任状 51名

○会 長 挨拶 豊 田 文 一

○議 長 選 出 厚生連高岡病院 広島清一氏議長となる

○議事録署名者及び書記指名

議事録署名者 小杉町 玉 井 友 一 高岡市 石 塚 宣 子

書 記 片 岡 広 明 島 田 俊 治

○議 事

第1号議案 昭和52年度事業報告書、財産目録、収支決算報告承認について

事業の概要と主なる行事の報告に併せ財産目録及び収支決算について報告承認を得た

第2号議案 昭和53年度事業計画及び収支予算案承認について

昭和53年度事業計画と収支予算案を説明し承認を得た

第3号議案 役員の一部変更について

理事のうち下記のとおり変更が決定された。

旧

新

県農協青年部長 西 島 秀 勝 任期満了により交替 吉 田 一 男

第4号議案 顧問の一部変更について

顧問のうち下記のとおり変更が承認された。

県厚生部長 渋谷 知 一 転 任 古 川 武 温

県町村会長 荒 井 三 郎 任期満了により交替 渡 辺 孝

第5号議案 会費の値上げについて 300円を500円に値上げが決定された。

特 別 講 演

金沢大学医学部教授 吉 村 祐 之 氏

演題「人畜共通の寄生虫について」 講演録 1頁～6頁に掲載

事業報告書

昭和52年4月1日～昭和53年3月31日

昭和52年度終了にあたり、ここに事業の概要ならびに決算関係諸表について御報告申し上げます。

本研究会創立以来9年の歳月を経まして、会員各位の絶大な御努力により、本県における農山村の実態を医学的に調査研究、さらにそれを基礎としての健康管理についての実施を続けてまいりました。

本年度は昨年に引続き糖尿病の疫学的調査を詳細に実施し、その要因についての検討を重ねて参りました。その成果は農山村民の健康増進に大きな役割を演じたと思われまます。

勿論事業計画に基づきまして、それぞれの分野において貴重な業績をあげられたことは、喜びに耐えません。

農民の健康会議も回を重ねて開催し、健康な農山村を築くため、農民の皆さんと忌憚のない意見交換を行い、本研究会事業推進のための貴重な示唆を与えられました。今後も県下各地において開催する予定でありますので、御協力の程お願い申し上げます。

ここに第9年度終了に当たりまして、会員各位の御理解と御協力に深謝し、さらに第10年度も農民の健康を守るため一段の努力を重ねる所存であります。

主なる行事

年 月 日	主 なる 行 事
52. 4. 19	役員会 52年度通常総会開催の件、会誌発行について(第8巻)、日本農村医学会総会について
52. 5. 9	専門委員会 糖尿病アンケート調査(2)の実施について内容討議
52. 5. 25	役員会 総会附議事項について
52. 6. 11	第8回通常総会開催 於 富山市昭和会館ホール
52. 7. 25	専門委員会 糖尿病アンケート調査(1)の中間集計発表検討 第1回農民健康会議 於 滑川市農協
52. 8. 4	専門委員会 糖尿病アンケート調査(2)の決定と発送の件
52. 8. 27	役員会 53年度事業計画、糖尿病アンケート調査について検討
52. 9. 9	役員会 53年度事業計画及び収支の状況
52. 9. 16	専門委員会 53年度の計画について 糖尿病アンケート調査(2)発送 248通
52. 11. 28	専門委員会 糖尿病調査の件と肝疾患調査の件について
53. 2. 11	第2回農民健康会議 於 高岡市農協
53. 2. 15	役員会 会誌第9巻編集の件、52年度収支決算について、53年度総会開催の件

財産目録

昭和53年3月31日

(単位 円)

内 訳	金 額	
預 金	36,207	
計	36,207	

富山県農村医学研究会

昭和52年度 収 支 決 算 書

自 昭和52年 4 月 1 日 ～ 至 昭和53年 3 月31日

(単位 円)

項	目	子 算 額	実 績	差 引 残 高
会 費 収 入		60,000	42,900	△ 17,100
	会 費	60,000	42,900	△ 17,100
援 助 収 入		6,350,000	6,350,000	0
	助 成 金	1,800,000	1,800,000	0
	特 別 負 担 金	4,550,000	4,550,000	0
雑 収 入		23,863	30,255	6,392
	雑 収 入	23,863	30,255	6,392
前 期 繰 越		36,137	36,137	0
収 入 計		6,470,000	6,459,292	△ 10,708
会 議 費		500,000	459,615	△ 40,385
	総 会 費	160,000	135,410	△ 24,590
	役 員 会 費	180,000	177,270	△ 2,730
	専 門 委 員 会 費	80,000	67,135	△ 12,865
	編 集 委 員 会 費	80,000	79,800	△ 200
事 業 費		3,475,000	3,463,960	△ 11,040
	研 究 調 査 費	1,755,000	1,785,600	30,600
	研 究 集 会 費	50,000	73,000	23,000
	雑 誌 発 行 費	1,600,000	1,550,000	△ 50,000
	通 信 費	40,000	35,960	△ 4,040
	消 耗 品 費	20,000	19,400	△ 600
	備 品 ・ 什 器	10,000	0	△ 10,000
旅 費 交 通 費		230,000	247,680	17,680
	旅 費 交 通 費	230,000	247,680	17,680
事 務 費		2,250,000	2,244,380	△ 5,620
	事 務 費	2,250,000	2,244,380	△ 5,620
雑 費		10,000	7,450	△ 2,550
	雑 費	10,000	7,450	△ 2,550
予 備 費		5,000	0	△ 5,000
	予 備 費	5,000	0	△ 5,000
費 用 計		6,470,000	6,423,085	△ 46,915
次 期 繰 越			36,207	

昭和53年度 事業計画

昭和53年4月1日～昭和54年3月31日

1. 農村の職業性疾患の調査研究

農夫症を中心とする農村の地域環境に起因する健康障害の調査研究

2. 農業災害の調査研究

農業機械の健康に及ぼす影響についての調査研究、とくに騒音及び振動の影響調査

3. 健康管理についての調査研究

農民の健康状態の把握と保健指導

農民の健康管理の調査研究

農民の成人病実態調査とその対策に関する検討

農民の糖尿病の調査研究と肝疾患の調査研究

4. 農民の健康会議の実施

5. 農村の特殊疾患の調査研究

伝染病、風土病等の地域多発疾患の疫学的調査研究

6. 農村における社会医学的研究

社会環境の変動による農民の健康に及ぼす影響についての調査研究

都市近郊農村の社会医学的研究

7. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究

8. 乳幼児ならびに学童に対する健康対策

9. その他目的達成に必要な事項

昭和53年度 収 支 予 算 書

自 昭和53年 4 月 1 日 ～ 至 昭和54年 3 月31日

(単位 円)

収 入 の 部			
項 目	予 算 額	内 容	
会 費 収 入	85,000		
会 費	85,000	会費 170人×500円	
援 助 収 入	6,500,000		
助 成 金	1,800,000	県費助成金	
特 別 負 担 金	4,700,000	農協各連負担金	
雑 収 入	28,793		
雑 収 入	28,793	預金利息その他	
前 期 繰 越	36,207		
合 計	6,650,000		

支 出 の 部			
項 目	予 算 額	内 容	
会 議 費	500,000		
総 会 費	160,000	会場借上料、資料代	
役 員 会 費	180,000	年12回会場借上料15,000円×12回	
専 門 委 員 会 費	80,000	委員会開催費用	
編 集 委 員 会 費	80,000	雑誌編集委員会費用	
事 業 費	3,585,000		
研 究 調 査 費	1,805,000	研究調査費、学会参加旅費	
研 究 集 会 費	100,000	健康会議会場借上料、その他会場設備費、資料及び案内状、印刷代講師謝礼、集会雑費	
雑 誌 発 行 費	1,600,000	年 1 回 500部	
通 信 費	50,000	電話代、切手代他	
消 耗 備 品 費	20,000	事務用消耗品その他	
備 品 ・ 什 器	10,000		
旅 費 交 通 費	250,000		
旅 費 交 通 費	250,000	県内、県外旅費	
事 務 費	2,300,000		
事 務 費	2,300,000	職員 1 名	
雑 費	10,000		
雑 費	10,000		
予 備 費	5,000		
予 備 費	50,000		
合 計	6,650,000		

望まれる調査研究事項

1. 農夫症、ビニールハウス病等の職業性疾患について
2. 農業用機械、自動車等による産業災害に関する調査研究
3. 労働時間、休憩時間、作業強度、作業姿勢等の健康におよぼす影響についての調査研究
4. 農民の年齢、性その他の身体的諸条件に応じた作業法（たとえば婦人労働、老人労働など）についての調査研究
5. 農民の使用する毒物、劇物、農薬等に関する中毒学的試験および検査ならびに安全使用法、健康におよぼす影響等必要な調査研究
6. 人畜共通伝染病についての調査研究
7. 農民の健康状態の把握とそれに応じた保健指導、医療確保（医療施設の整備、医師等の医療従事者の確保）など、農山村民の健康管理についての調査研究
8. 衣生活および住生活、活動と休養、体格と機能の生理衛生ならびに健康増進方法についての調査研究
9. 農民の食生活の実態および米、塩等、農民が多量に摂取する食品の栄養学的研究
10. 農山村における水道、下水道、汚物処理、そ族こん虫等の環境衛生に関する調査研究ならびに住宅その他地域計画の保健衛生に関する分野の調査研究
11. 農村保健に関する衛生統計、社会統計等の諸統計や各種データ収集、解析および資料の編さん
12. 伝染病、風土病および農村特有の多発性疾患の疫学について
13. 農村における社会医学的問題の調査研究
14. 農村における人口動態、人口移動、人口年齢構造など人口現象について
15. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究
16. その他農山村保健の推進のため必要な調査研究

投 稿 規 定

募 集 原 稿 農村医学の分野における独創的な研究および会員のたよりとします。

投 稿 の 資 格 投稿者は原則として富山県農村医学研究会会員とします。

原 稿 の 送 り 先 富山県農村医学研究会事務局宛（高岡市永楽町 5 番10号 富山県厚生連内）
投稿原稿の掲載選択順位は編集委員にご一任下さい。

論文原稿の形式

1. 本文は本会規定の原稿用紙に、口語体、平かな、新かなづかいで、できるだけ簡潔に横書して下さい。
2. 外人名、地名、その他の固有名詞、特別な化合物名などは、できるだけ原綴のまま（Pasteur, Prostigmin 等）とし、動植物名は日本名の次に学名（ローマ字Mocacus rhesus, 山椒藻Salvinabatah 等）を記入する。計量にかなするものはメートル法に準拠し、次のような略号を用いる。メートルm、センチメートルcm、グラムg、キログラムkg等。
3. コンマ（,）ピリオド（.）コロロン（:）ゴシックの使用等に気をつけて下さい。
4. 図表は、そのまま製版できるように上質ケント紙または方眼紙に墨で、ていねいに書いて下さい。（図表は、特殊なものを除いては、出来あがり左右 6.5cmに製版しますから、その2倍か3倍に書いて下さい。）図書の文字は、こちらで記入しますから、鉛筆で書いて下さい。
5. 写真は出来るだけ鮮明なものをお送り下さい。
6. 本文に挿入する図表、写真については、挿入場所を原稿の欄外に明記（朱記）して下さい。

無 料 掲 載 原稿用紙20枚（刷上がり5頁）までとします。ただし挿入附図、附表を含みます。

有 料 掲 載 超過頁の印刷代、附図、附表の製版代の実費は投稿者の負担とします。ただし刷上がり15頁を限度とし長篇の論文を5頁ずつ分割掲載することは認められません。

- 文 献**
1. 雑誌の場合著者名、標題名、雑誌名（雑誌指定の略号）、巻数（号数）、頁一頁、発行年月（昭52. 5のごとく。）
 2. 単行本の場合 著者名：標題名、発行所、発行地、発行年月（必要ならば引用の個所の頁を最後に）

別 刷 別刷の部数や体裁などについてはある程度まで、実費をもってご希望に応じます。ただし別刷30部までは無料で投稿者に進呈、30部以上は実費をご負担願います。

編集後記

昭和44年10月18日富山県農村医学研究会が発足してから10年の歳月が流れ、ここにその機関誌第10巻をおとどけする事ができるのは、本当にうれしい事です。

僅か10年の短い期間ですが、その間、農業、農村、農家は一層の変貌をとげつつあり、高令化社会、疾病傾向の変化、農村の都市化、豊田会長のいわれる混住化社会への移行は増巾され、健康づくりや、保健がますます重要な課題となってまいりました。政府の唱える田園都市構想や、家庭基盤の充実などは、私共学会員が目的とした地域社会の健康問題とは密接な関連があり、過去10年間に果たした役割は大きな意義があり、成果があったと確信しています。

第10巻は、会員各位の熱意により、10周年にふさわしい質、量共に充実したものとなりました。今後も地域社会は変貌し、その対応も進歩、高度化されると思われますが、あくまでも、地域を中心とし、住民を主体とした医療の充実をめざして一層の連帯を深めおしすすめてゆきたいものと思います。

越 山 健 二

編 集 委 員 越山 健二、長谷田祐作、北川 鉄人

富山県農村医学研究会誌 第10巻	昭和54年3月25日印刷・昭和54年3月31日発行
高岡市永楽町5番10号・富山県厚生連内	電 話 高岡 (0766) 25-2266
編集、発行所 富山県農村医学研究会	事務局長 岩 井 久 作
印刷所 菅野印刷興業株式会社	富山県黒部市三日市 電話(0765)54-0112
